

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	1 寒川町における快適な街づくりに貢献する下水道			交付対象	神奈川県寒川町		
計画の期間	平成23年度～平成27年度(5年間)						
計画の目標	下水道整備により安全・安心・快適な住環境を実現する。						
計画の成果目標(定量的指標)	①下水道処理人口普及率が91.8%(H23)から93.0%(H27)に増加させる。 ②下水道による都市浸水対策達成率が72.4%(H23)から73.0%(H27)に増加させる。 ③管渠の長寿命化計画策定率が0%(H23)から18%(H27)に増加させる。						
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値			備考
				当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)	
①	下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口(人)／総人口(人)			91.8%	92.5%	93.0%	
②	下水道による都市浸水対策達成率 浸水対策完了済み面積(ha)／浸水対策を実施すべき面積(ha)			72.4%	72.7%	73.0%	
③	長寿命化計画策定率 長寿命化計画策定済み地区(箇所)／長寿命化計画を実施すべき地区(箇所)			0.0%	18.0%	18.0%	
全体事業費	合計 (A+B+C)	231百万円	A	222百万円	B	C	9百万円
				効果促進事業費の割合 C／(A+B+C)			3.9%

事後評価(中間評価)

○事後評価(中間評価)の実施体制、実施時期	
事後評価(中間評価)の実施体制 寒川町下水道運営審議会で実施する。	事後評価(中間評価)の実施時期 平成28年度 公表の方法 町のホームページに掲載予定

1. 交付対象事業の進捗状況

A1 下水道事業													全体事業費 (百万円)	備考			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)						
											H23	H24	H25	H26	H27		
A1-1-1	下水道	一般	寒川町	直接	-	汚水	新設	小谷宮山幹線(未普及解消)	L=0.05km	寒川町						8	
A1-1-2	下水道	一般	寒川町	直接	-	汚水	新設	小谷小動幹線(未普及解消)	L=0.6km	寒川町						85	
A1-1-3	下水道	一般	寒川町	直接	-	汚水	新設	田端幹線(未普及解消)	L=0.2km	寒川町						25	
A1-1-4	下水道	一般	寒川町	直接	-	汚水	新設	一之宮西一幹線(未普及解消)	L=0.05km	寒川町						9	
A1-1-5	下水道	一般	寒川町	直接	-	汚水	新設	大村旭幹線(未普及解消)	L=0.00km	寒川町						0	
A1-1-6	下水道	一般	寒川町	直接	-	雨水	新設	小動幹線①(浸水対策)	L=0.05km	寒川町						40	注3より防災安全へ
A1-1-7	下水道	一般	寒川町	直接	-	雨水	新設	小動幹線②(浸水対策)	L=0.05km	寒川町						45	注3より防災安全へ
A1-1-10	下水道	一般	寒川町	直接	-	汚水	改築	長寿命化事業	長寿命化計画策定(一之宮・岡田地区)	寒川町						10	
											合計(下水道事業)					222	

C 効果促進事業													全体事業費 (百万円)	備考			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)							
											H23	H24	H25	H26	H27		
C-1-1	下水道	一般	寒川町	直接	-	汚水	新規	小谷宮山幹線枝線整備	0.0ha	寒川町						0	
C-1-2	下水道	一般	寒川町	直接	-	汚水	新規	小谷小動幹線枝線整備	0.2ha	寒川町						5	
C-1-3	下水道	一般	寒川町	直接	-	汚水	新規	田端幹線枝線整備	0.2ha	寒川町						4	
C-1-4	下水道	一般	寒川町	直接	-	汚水	新規	一之宮西一幹線枝線整備	0.0ha	寒川町						0	
C-1-5	下水道	一般	寒川町	直接	-	汚水	新規	大村旭幹線枝線整備	0.0ha	寒川町						0	
											合計					9	

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
C-1-1	基幹事業である幹線と接続した枝線整備を一体的に行うことにより、普及促進を図る。	
C-1-2	基幹事業である幹線と接続した枝線整備を一体的に行うことにより、普及促進を図る。	
C-1-3	基幹事業である幹線と接続した枝線整備を一体的に行うことにより、普及促進を図る。	
C-1-4	基幹事業である幹線と接続した枝線整備を一体的に行うことにより、普及促進を図る。	
C-1-5	基幹事業である幹線と接続した枝線整備を一体的に行うことにより、普及促進を図る。	

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> 汚水枝幹線整備は一部実施できない路線もあったが、0.9kmの整備が進み普及率の向上に貢献できた。 雨水幹線の整備は、平成25年度より防災安全交付金に移行し事業を継続実施した結果、0.6kmの整備が進み、浸水箇所の縮減に貢献できた。 管渠の長寿命化計画策定は、寒川町下水道長寿命化計画基本構想を基本に、優先順位の高い箇所の短期計画(5カ年計画)を実施し、平成25年度から防災安全交付金による、長寿命化対策事業を実施し、管路施設の長寿命化に貢献できた。 				
II 定量的指標の達成状況	指標①(下水道処理人口普及率)	最終目標値	93.0%	目標値と実績値に差が出た要因	未復旧解消事業は、枝線整備を1.7km実施する予定のところ、0.9kmの整備となったため。	
		最終実績値	92.8%			
	指標②(下水道による都市浸水対策達成率)	最終目標値	73.0%	目標値と実績値に差が出た要因		
		最終実績値	72.8%			
	指標③(長寿命化計画策定率)	最終目標値	18.0%	目標値と実績値に差が出た要因		
		最終実績値	1.3%			

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)	
--	--

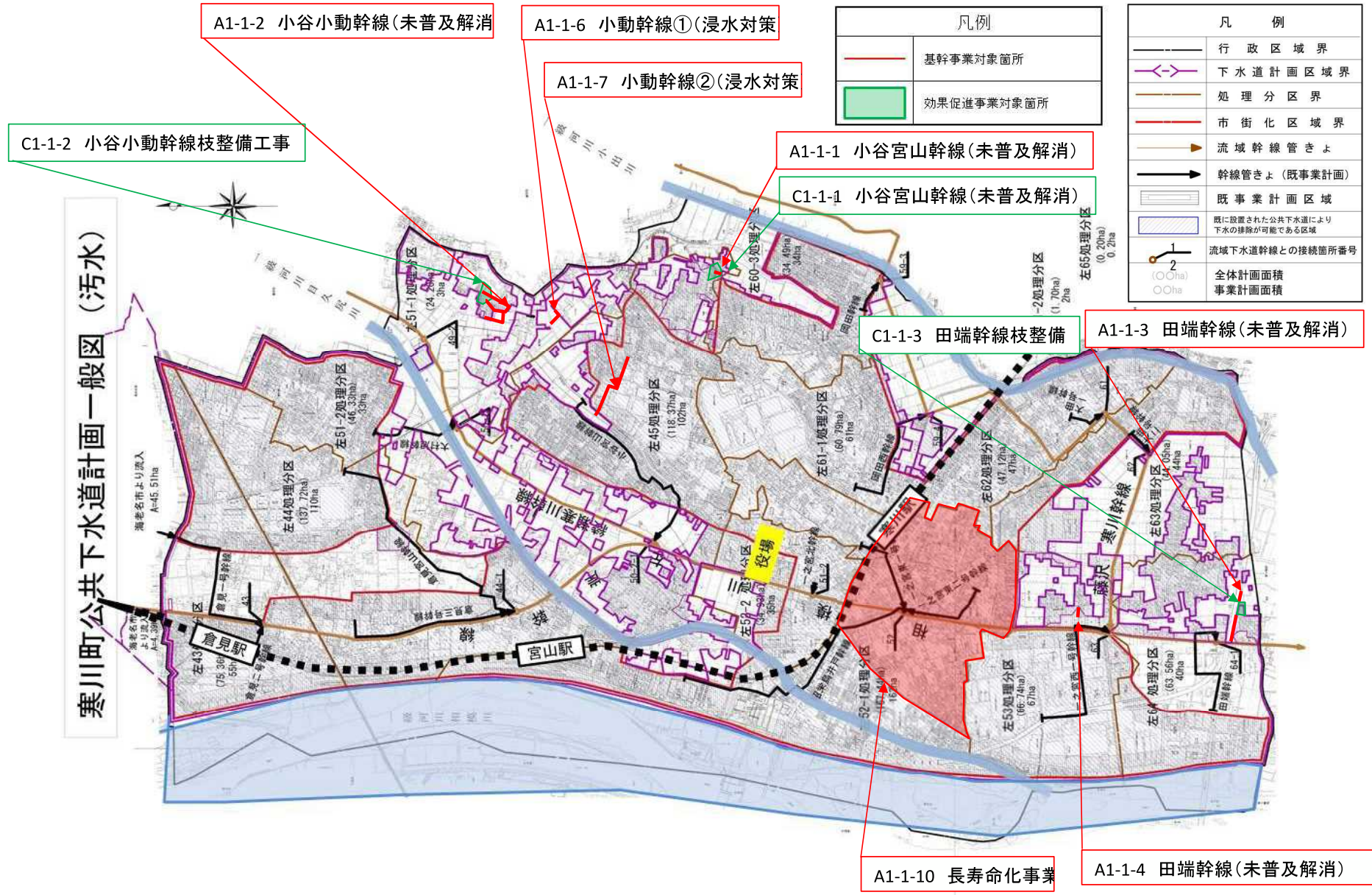
3. 特記事項(今後の方針等)

財政状況の厳しい中、公共水域の保全のため、汚水整備の計画の見直しも含め継続的に実施していく。また、管路の長寿命化及び浸水事業については、平成25年度より防災安全交付金に移行し、継続的に事業を実施していく。

(参考様式3) 社会資本整備計画 参考図面

計画の名称	1 寒川町における快適な街づくりに貢献する下水道	交付対象	神奈川県寒川町
計画の期間	平成23年度～平成27年度(5年間)		

寒川町公共下水道計画一般図(汚水)



	基幹事業対象箇所
	効果促進事業対象箇所

	行政区域界
	下水道計画区域界
	処理分区界
	市街化区域界
	流域幹線管きよ
	幹線管きよ(既事業計画)
	既事業計画区域
	既に設置された公共下水道により下水の排除が可能である区域
	流域下水道幹線との接続箇所番号
	全体計画面積
	事業計画面積